

9 デリギング（解除・撤収）

一般的なロープアクセスでは登高しながら中間セットの解除と補助装備の撤収を行う。

中間セットの撤収は必ず通過後に行う。

打ち込んだ人工アンカーを再度使用する場合には、アンカーに砂泥が流入しないためと、次回アンカーを見つけやすくするために、メクラボルトをねじ込んでおくとい。

1 帰還



①ピッチヘッドまで登ってくる。



②ショートカウズテイルを使って確保点を増やす。



③ハンドアッセンダーをメインアンカーの上部に付け替える。



④ハンドアッセンダーのトップホールにショートカウズテイルを、ボトムホールにロングカウズテイルを接続し、2点確保とする。



⑤ハンドアッセンダーを付け替えて2点確保ができていることを確認後、チェストアッセンダーを解除する。



⑥ピッチヘッドアンカー（メインアンカー）を撤収し、最初のアンカー（バックアップアンカー）までハンドアッセンダーでの2点確保で帰還する。メインアンカーを解除しているため、ロープに体重をのせてはならない。

！カウズテイルでは確保にならない！

上記⑥のとき、メインアンカーを解除した後は、バックアップアンカー～メインアンカー間のロープは確保ラインではなくなる。下方が結束されていない状態になる。そのため、カウズテイルをロープに接続しても確保にならない！

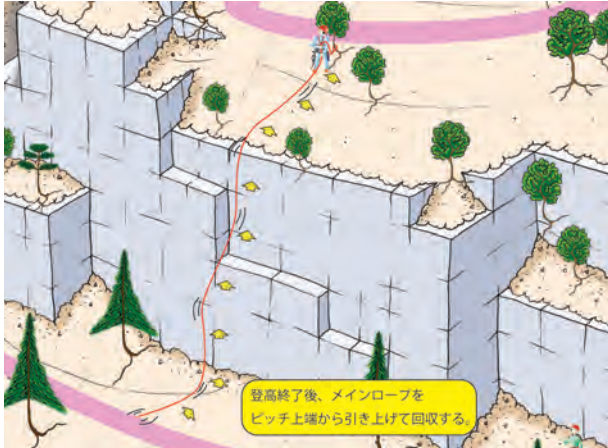


2 ロープの回収

メインロープの撤収方法には主に二通りある。

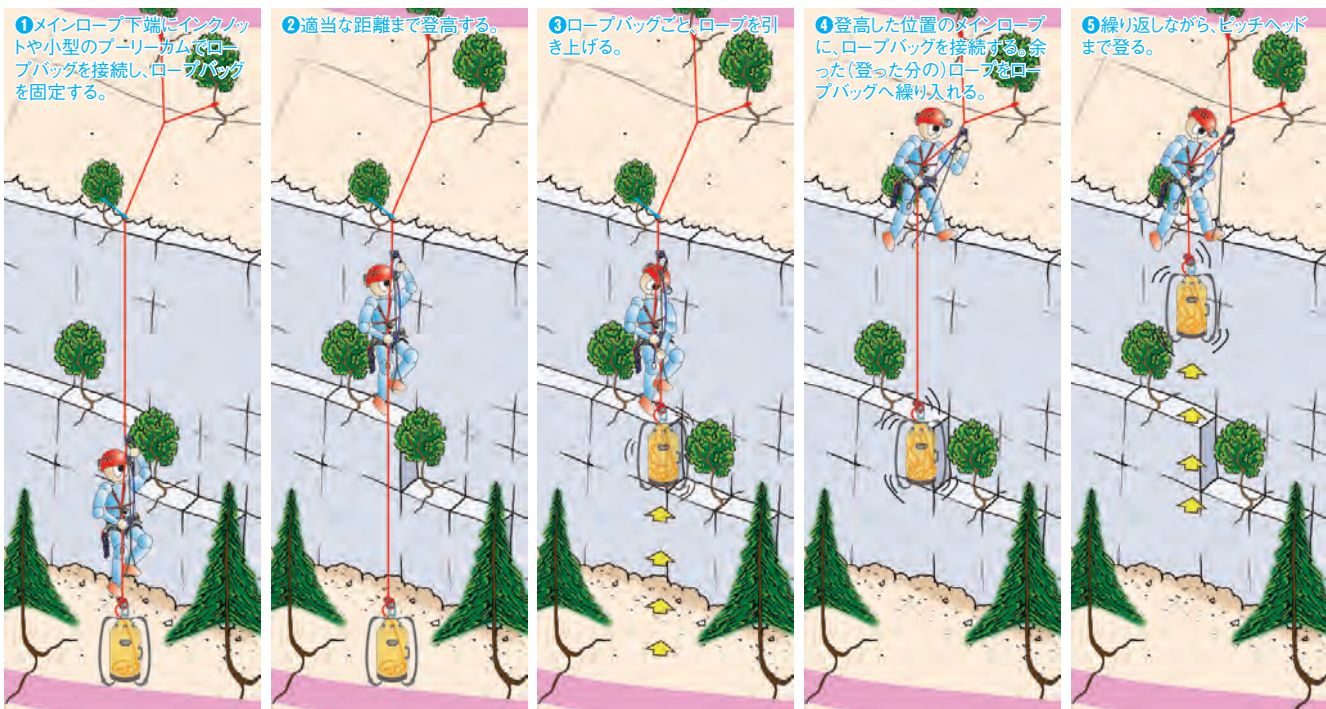
- ピッチボトム（岩壁下部でロープを使い終わる平坦部）でメインロープの余り量が少なかったり、ピッチボトム周辺にロープが引っかかる突起（小枝・灌木など）がない場合には、メインロープをピッチヘッドから引き上げる。こちらの方が楽な事が多い。
- ピッチボトムでロープの余り量が多かったり、周辺にロープが引っかかる突起（小枝・灌木など）がある場合には、ロープを撤収しながら持って登る。

引き上げる方法



- 余りのロープをピッチボトムにからまないように広げる。
- この時ロープエンドのダブルフィギュアエイトノットを含め中間のノットを全て解き、ロープをノットの無い状態にしながら登る。
- リギング補助装備をすべて回収してピッチ上端まで登ってきたら、メインロープを引き上げる。
- もしロープが重ければ、身長より高い位置でプーリーを介してロープを折り返すと良い。それでも重たければ、セルフビレイを取って、引きたいロープにチェストアッセンダーで体重をかけると良い。

撤収しながら持って登る方法



インクノットでの接続



マイクロトラクションでの接続

